

平成 27 年（2015 年）6 月 24 日

国内唯一 日本の博士論文を一元的、網羅的に検索できる新サービス
「CiNii Dissertations（サイニィ ディザテーショズ）」の試験運用を開始

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（以下 NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）は日本の博士論文を一元的、網羅的に検索でき、電子化されて公開されている博士論文の本文も表示できる国内唯一のサービス「CiNii Dissertations（サイニィ ディザテーショズ）」を開発し、本年 10 月から提供します。正式公開に先立ち、今月から試験運用を開始しました。「CiNii Dissertations」は以下の URL から、無料で、どなたでも利用可能です。

<http://ci.nii.ac.jp/d/>

「CiNii Dissertations」で検索できる博士論文のデータは、国立国会図書館が所蔵している大正 12 年（1923 年）9 月以降の国内博士論文約 57 万件（*1）、国立国会図書館が平成 3 年（1991 年）度から平成 12 年（2000 年）度までに受け入れて電子化した「国立国会図書館デジタルコレクション」約 13 万件（電子化された本文データ含む）、及び、各大学の機関リポジトリの収録データ計約 13 万件です。

これまで博士論文を利用するには、上記の国立国会図書館や大学の蔵書検索をそれぞれ調べる必要がありました。「CiNii Dissertations」ではそれらを一括して網羅的に検索することが可能です。さらに、本文が電子化されて公開されている場合、数クリックで本文を閲覧することができます。「CiNii Dissertations」は博士論文の検索や本文の閲覧の利便性を格段に向上させる「ワンストップ」サービスを提供します。

「CiNii Dissertations」は、論文検索サービス「CiNii Articles（サイニィ アーティクルズ）」（*2）、大学図書館所蔵資料の検索サービス「CiNii Books（サイニィ ブックス）」（*3）に続き、NII が提供する学術情報検索データベースサービス「CiNii（サイニィ）」の三番目の機能です。CiNii のサービス開始から 10 年間で磨かれた共通の検索インターフェイスを採用しています。（別紙）

博士論文は、大学や独立行政法人大学評価・学位授与機構が授与する博士号の取得のために必須の学位論文です。最先端の研究成果が記述された学術的価値が高い資料として、国立国会図書館や大学図書館が学位授与機関を通じて収集してきました。平成 25 年（2013 年）3 月の学位規則改正で、博士論文は原則としてインターネットで公表されることになり、大学などの学位授与機関は自分たちの研究成果を社会に発信するプラットフォームである学術機関リポジトリを通して博士論文を公開するようになっていきます。

NII は研究と事業を活動の両輪としており、大学等の教育研究機関や学会などの学術コミュニティとの連携をベースに、学術コミュニティが必要とする学術論文や図書、データベースなどの学術コンテンツを確保・形成し、新たな価値を付けて世の中に広く発信する次世代学術コンテンツ基盤の構築を進めています。

NII では今後、「CiNii Dissertations」のシステムやデータの機能・精度の向上を進め、本年 10 月に正式サービスを開始する予定です。NII は今後ともより高品質で利便性が高く、オープンな次世代学術コンテンツ基盤の構築に取り組んでまいります。

(*1) 「国立国会図書館が提供している国内博士論文約 57 万件」: 国立国会図書館リサーチ・ナビ「国内博士論文の所蔵状況等」(http://navi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-100044.php)

(*2) 「CiNii Articles」: 収録データは学協会刊行物に掲載された論文や国内の大学などが刊行する研究紀要、国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの論文情報約 1,600 万件、本文約 400 万件 (<http://ci.nii.ac.jp/>)

(*3) 「CiNii Books」: 収録データは全国約 1,200 の大学図書館などが所蔵する本（図書、雑誌、CD/DVD など）の情報計約 1,000 万件 (<http://ci.nii.ac.jp/books/>)

以上

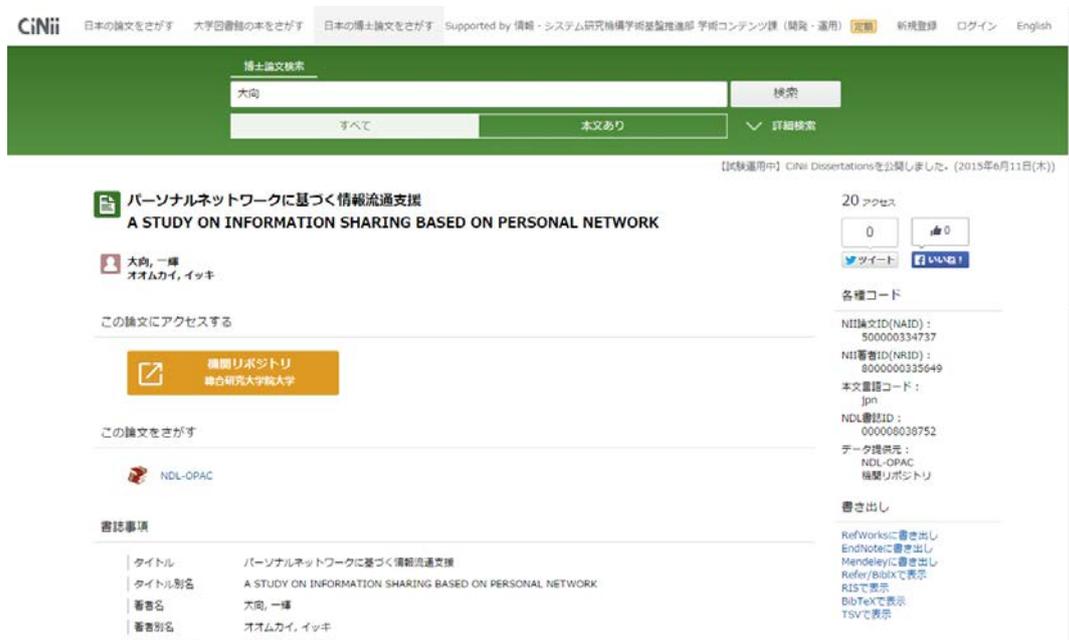
〈別紙〉



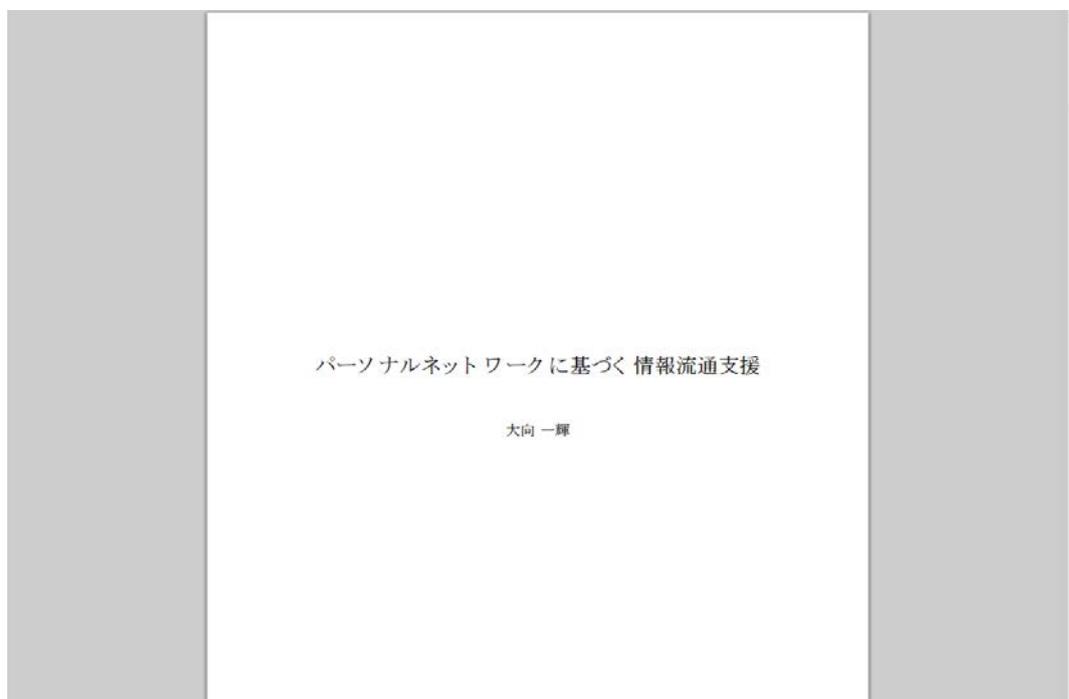
(図 1) 検索画面



(図 2) 検索結果



(図 3) 詳細画面



(図 4) 本文画面